

平成会通信

HEISEIKAI magazine

VOL.12

介護のいまを知り、
みらいを創る

ふれあう時間に
ほっとする冬



特集

手厚いフォローで、平成会の“こころ”を学ぶ
新規採用者研修

2024
冬

表紙／岡谷和楽荘 熊谷 ネリー

施設だより

平成会グループの各施設からのお便りをお届けします！

SHISETSU
VOL.12
DAYORI

養護老人ホーム 岡谷和楽荘

できるだけ制限なく、“その人らしく”いられる場所
日々を楽しく暮らせる場所であるように

住所 長野県岡谷市 2916-4
開設 2006年4月
定員 70名



静かな環境で過ごしなが 自立を促す生活の場として

身体上、精神上、または住宅に困っているなど環境上の理由、および経済的理由により自宅での生活が難しい方が入居する養護老人ホームです。職員は必要以上に手を掛けず、利用者が自分でできることはなるべく自分でする生活を心掛けています。

施設長より

大卒で入社して20年以上、平成会で勤めています。利用者様は人生の大先輩。礼儀や言葉遣いなど、敬意を持って接することを常に心掛けています。



上平 心太郎さん

「役に立ちたい」という利用者様の 気持ちを尊重して役割を分担

下膳のお手伝いや、食事時間などを知らせて回る「声掛け隊」、図書館の管理など、“誰かの役に立つ”ことでいきいきとする利用者様の姿が毎日あります。そして仮装や本格的な演劇など、イベントの時は利用者様も職員も一緒になって楽しんでいます。



さまざまな背景をお持ちの 利用者様に親身に寄り添う職員

「この方をなんとかしてあげたい」と、本当に親身になって利用者様のことを思う姿勢は、和楽荘職員のいい所です。「この和楽荘での日々を少しでも楽しく過ごせるように」といつも考えながら、利用者様一人ひとりと向き合い、寄り添っています。



みんなで
マーじゃん！

平成会通信

平成会通信 Vol.12

誌面へのご意見・ご感想 お待ちしています！



どんなつぶやきでも
ウエルカム！



編集後記

新しい環境に身を置くこととなった時。私の場合、緊張はしますが、期待と楽しみな気持ちが勝ります。反対に大きな不安を感じる方もいらっしゃると思います。今回の特集ページは中途入職の職員を対象にした研修にフォーカスを当てて紹介しています。私も転職の経験が何度ありますが、中途職員に対する研修なんてほとんどありませんでした。平成会では2日間にわたる手厚い研修があると知り、改めて研修体制の充実ぶりに驚かされました。



みやざわ



社会福祉法人 平成会

● ● ● 介護はこころ ● ● ●

真心と幸せ、そして心の豊かさを感じられる生活を送っていただけるよう、今日一日、その全てに一期一会の精神で臨み、「共に歩む」の法人理念を実践してまいります。



手厚いフォローで、平成会の“こころ”を学ぶ

新規採用者研修



平成会では、中途採用の職員を対象とした「新規採用者研修」を春・夏・冬の年3回行っています。入職した時期に応じて受講します。法令で義務付けられた研修のほか、救命救急、接遇、認知症サポーター養成講座など、平成会ならではの内容もあります。ユマニチュードやシーティングといった最先端技術についても取り扱っており、中途採用者であっても、安心して入職できる体制を整えていることも平成会の特徴です。12月に実施した中途採用者対象の研修の様子と、講師・参加者の声をお伝えします。

令和5年度 第3回新規採用者研修(中途採用者対象)

日程	1日目	2日目
主な内容 (抜粋)	- 接遇 - 就業規則 - 応急・窒息・防火防災 - リスクマネジメント - ユマニチュード - 身体拘束	- 個人情報保護・SNS - 高齢者虐待 - 感染症予防 - シーティング - 認知症サポーター養成講座 - 腰痛予防 - KTSM

ココがちがう！ 平成会の研修

法人のケアの柱となる最先端技術「ユマニチュード」「シーティング」「KTSM(食事介助)」について取り扱い、まずは理解の第一段階としています。関心を持った職員は「自由参加型研修」で各分野の学びをさらに深めることができます。

シーティング



利用目的や利点の異なる3タイプの車椅子とクッションを見たり触ったりしながら、講師の説明を理解しました。



KTSM

自分で飲み込み方を確認したり、悪い方法で互いに食べさせ合うなど、利用者様の立場に立った実践を交えました。



講師より

この研修では、シーティングとは何かをまず知っていただくことに重点を置いています。シーティングと聞くと「リハビリ専門職でないといけないのでは」と思われがちですが、そうではなく、多職種での関わりも大切だとお話しています。リハビリ職だけでなく、介護職、看護職など、それぞれの専門的な視点で、視野を広げて利用者様を見ることが重要です。姿勢の崩れをはじめとした“利用者様の变化に気付く”ことがシーティングの第一歩であり、とても大事なことです。この研修をきっかけにシーティングに興味を持って、「自分でもやってみたい」と思ってもらえたらいいですね。

理学療法士

丸山 拓也さん (さわらび)



ココがちがう！ 平成会の研修

講師はいずれも、各ジャンルのエキスパートである法人職員が担当。同じ平成会で働くスタッフなので、法人の理念や現場の環境なども理解しており、質問があれば研修修了後でもコンタクトが取りやすいなどのメリットもあります。

認知症サポーター養成講座

これまで多くのサポーターを養成してきたベテラン職員が講師を務め、子ども向け講座などで大評判のリアルな寸劇も披露。



ユマニチュード



講師は、法人全体での導入推進リーダー格の職員が担当。ユマニチュードとは何か、ユマニチュードの「4つの柱」「5つのステップ」について、研修参加者の皆さんに近づき、身ぶり手ぶりを交えてお話ししました。

まだまだあります！

多彩な研修内容

腰痛予防



「空き時間などにぜひ試して」と、講師と一緒にストレッチ。施設のレクリエーションでも使える手指の運動も体験しました。

講師より

ふだんは介護予防のための体操を指導していますが、新規採用者研修では、腰痛予防・改善のストレッチを職員の方に体験していただいています。私自身介護士として腰痛に悩まされてきた経験から、「ボディメカニクス」を意識するようになり、体の動きや使い方などについて、自分の体で試しながら身に付けてきました。皆さんにはぜひこのボディメカニクスを意識してもらいたいと思い、研修でお伝えしています。自分や相手の姿勢、体の各部位の動き、重心の位置などを考えた介助が大切。介助する人もされる人も、どちらにも負担や無理が少なくなれば、お互いに気持ちいい介護になります。

健康運動指導士

深澤 克慶さん (わかな)



応急・窒息・防火防災

消火器による模擬消火、AEDを使った救命手順や窒息の対処など、実践中心の研修内容。



高齢者虐待

虐待へ至る予兆とも言える不適切なケアについてグループワークで意見交換。



充実した2日間！

研修を終えて

介護の仕事には4～5年前から関わり、今年、介護福祉士の資格を取得。ケアマネやサービス管理責任者など、さらに上の資格を目指して、働きながら学びたいです。ユマニチュードはこれまでも実践していて、自分のやってきたことが平成会で推進されていてうれしいです。認知症サポーターについても、もっと上のレベルを狙っています。

介護士

阿部 真由美さん (さわらび)



介護士

橋本 未央さん (グループホーム寿和寮)



ケアマネジャー兼相談員

宮島 幸春さん (福寿苑)



前職も相談員として働いていました。高齢者虐待の実際の映像を見たら、背筋を正される思いでした。相談員は利用者様のご家族と最初に出会う施設職員なので、第一印象で安心感を与えられることが大事だと思います。人として親しみを持っていただき、ご家族と施設とのいいパイプ役として、施設全体の安心につながるような職員を目指したいです。



平成会タイムス

TOPICS
1

グループホーム 風薫

笑顔があふれた4年ぶりの家族会開催

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、少しずつ社会活動が活性化されてくる中、昨年10/28、グループホーム風薫(岡谷市)で思い切って家族会を行いました。実に4年ぶりの開催です。

新型コロナは完全に収束したわけではないので、人数に制限をかけ、短時間で行うことにしました。心に残る家族会にするにはどうすれば良いかと、ユニットリーダー2名を中心に半年間かけて計画を練り、全職員で取り組みました。当日は13家族21名の方が参加してくださり、久しぶりにゆっくりと過ごしていただきました。

記念撮影、手作りシフォンケーキを振る舞ってのティータイムでは笑顔があふれ、職員の自己紹介や日頃行っている口腔体操と一緒にしていただくなど、ご家族様とも交流する機会となりました。この4年間の日常の様子や行事の写真をスライドショーで見ただけ、コロナ禍で分断されていた時間を少しでも感じていただけるようにしました。毎月撮りためて



いる写真アルバムと、利用者様と一緒に作った花のストラップをプレゼントしたところ、大変喜んでくださいました。利用者様からは「楽しかった」「ケーキおいしかったよ」、ご家族様からは「短い時間で母も疲れてなくてよかった」「1年に何回かあるとうれしい」などの声をいただきました。これからも利用者様・ご家族様の心に寄り添う支援をしていきたいと思います。



ひときわにぎやかなテーブル。都合のつかないご家族様に代わって、今日は私たちがファミリーです。



「娘にはこの色がいいかなあ〜」。想いを馳せながらストラップを作りました。



素敵なフォトポイント作成中。「この花ここ」と真剣です。



職員特製ふわふわのシフォンケーキはシャインマスクットとも相性抜群です。

TOPICS
2

4年ぶりのリアル会場発表を予定！

法人事例発表会に向けて予選から着々

各事業所での1年間の取り組みとその成果を披露する、法人事例発表会。普段知ることのない他施設の取り組みを知ることができる平成会の一大イベントです。

よりよいケアを提供するための取り組み、職場環境の整備、特定技能外国人の育成など、テーマは多岐にわたります。

13回目となる今年は、まずオンデマンド配信を活用した予選が職員限定で公開され、ネット上で投票を実施します。投票の結果、上位6事業所が3月に岡谷市

のテクノプラザおかやにて会場発表を行います。昨年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられ、4年ぶりに大きなホールで本選が行われます。

オンデマンド配信では、各事業所とも思いのこもった発表が披露されました。投票の結果、どの施設の取り組みが支持され、また会場発表ではどのようなプレゼンテーションが行われるのか、期待が高まります。



TOPICS
3

QOL向上に役立つ製品作りに協力

防臭力に優れたビニール袋の商品モニター



寿和寮(茅野市)では12月から、大阪に本社を置くフィルムメーカー、クリロン化成株式会社様より販売されている「臭わない袋 BOS(ボス)」の商品モニター協力を行っています。

養護施設である寿和寮では、パット処理を自身で行われている利用者様も多くいます。そのような方にもBOSを使っただけ、介護職員だけでなく利用者様も一緒にモニターのお手伝いをさせていただいています。BOSは袋の中身の臭いをセンサーで検出できないほどの強力な防臭機能を持っています。汚れたパット類は新聞紙にくるんで捨てることが多いですが、BOSを使うのと使わないのとではゴミ袋内の臭いが明らかに違い、職員

も驚いています。

多くの利用者様が生活される介護施設において、排泄臭をカットできることは、日々の生活の質の向上にも役に立つことと思います。BOSを使用する中で、介護施設ならではの視点から、使用感やよかったこと、改善案といった意見を交換することで、微力ながら福祉業界の発展に貢献できればと思います。

TOPICS
4

異業種の皆さんとも有意義に交流

塩尻市の業務改善プログラム事業に参画

平成会は、塩尻市産業振興事業部が主催する「人的資本経営推進事業」に参画しています。

地域全体で人財投資の風土が根付き、人財が定着・活躍する塩尻を実現するという目的のもと、平成会は塩尻市内4社のうちの1社に選ばれ、2023年7月から、養護老人ホーム岡谷和楽荘と茅野市養護老人ホーム寿和寮がこの事業に参画しています。初回はカードワークを通して、自分や職

場は持続可能な状態なのか？ それともその逆なのか？ 現状を把握し、振り返りの内容を異なる業種の方々と共有しました。普段会うことの少ない異業種の方々の思いや悩みを聞き、逆に自分たちのそれも聞いていただき、とてもいい機会となりました。業種は違っても人に関する悩みや課題は共通している部分も多く、新たな気づきがありました。今後はコンサルタントに伴走していただきながら職場の



課題を挙げ、対策を実行していく予定です。今後の展開、成果が楽しみです。

Photo Diary

フォトダイアリー

2024
WINTER

お正月



辰年最初のお食事

辰年らしく前向きな年を迎えられるよう、年初めはいつもより気持ちが明るくなるものと、まぐろ、サーモン、ホタテのお刺身盛り合わせ。利用者様も皆さん喜んでくださいました。

箕輪町 介護老人保健施設 わかな



餅つき

新しい年も豊かな実りがあるように願いを込めて、12/28に鏡餅を作りました。「よいしょー！」と皆さんの大きな声がホールに響きました。今年も良い年になりますように♪

塩尻市 有料老人ホーム セセラギ



お餅つき

”福が来る“と願いをこめて、伝統行事の餅つき大会を開催。職員よりすぐりの力自慢が競い合い「よいしょ、よいしょ」と和やかな雰囲気での1年の締めくくりでした。

諏訪市 介護老人保健施設 掬水



お正月を迎えるために

年末恒例のしめ縄作り。利用者様と職員で一緒に行いました。皆さん丁寧に縄をなってくださいました。完成したしめ縄は、各ユニットの玄関に飾りました。

辰野町 介護老人福祉施設 福寿苑



年末恒例“大餅つき大会”

年末恒例の餅つき大会です。鏡餅を作るお餅を利用者様皆さんが力を合わせて一生懸命つくってくれました！これで年神様をお迎えする準備万端です。

岡谷市 介護老人福祉施設 松風

注目！ の ニュース

PICK
UP
NEWS

さわらびが、全日本交通安全協会長表彰を受賞！



交通安全対策を積極的に推進し、交通事故の防止に努めたとして、介護老人福祉施設さわらびが交通安全優良事業所として表彰を受けました。

第64回交通安全国民運動中央大会で表彰が行われ、全国81事業所、県内では2事業所が受賞しています。表彰式には秋篠宮皇嗣殿下、岸田内閣総理大臣も出席されました。

さわらびでは、安全運転に関する広報を毎月職員に配布したり、施設独自でポスターを作成するなど安全運転に関する呼びかけを随時行っています。飲酒運転防止のため、アルコールチェックを徹底。出勤職員のシートベルト着用点検など、職員全員で交通事故対策に取り組んでいます。



降雪や路面凍結が見られた際は、職員への注意喚起はもちろんのこと、相談員や事務職員が中心となって面会にいらっしやるご家族様に注意を呼びかけています。



日頃の活動と対策が評価された今回の表彰。安全運転管理者を務める山田真彰さんは「活動の積み重ねが認められてありがたい。今後も意識を高めるよう努力していきたい」と話しています。

うちの
施設の

自慢のこんだて

JIMAN NO KONDATE

vol. 12

松本市

グループホーム なごみ



シフォンケーキ&ゼリー

クリスマス会にシフォンケーキを焼き、ホイップとフルーツで飾りました。甘い物が大好きな利用者様たちなので、シフォンケーキの中に甘納豆を入れて焼いてみました。ツリーの代わりに緑のゼリーも添えました。クリスマスらしく、目でも楽しんでもらいたいと思って作りました。大変喜んでいただき、私の方が感激しました。

材料

〈シフォンケーキ〉15cmの型1個分

卵……………4個
薄力粉……………70g
グラニュー糖……………70g
サラダ油……………30cc

お湯……………50cc
バニラオイル・レモン汁・塩…各少量
甘納豆……………お好みで

〈ゼリー〉

アガー……………30g
砂糖……………120g
水……………100cc
食紅……………少々

つくricat

〈シフォンケーキ〉

- 1 卵を卵黄と卵白に分ける
- 2 ボウルに卵黄を入れてほぐし、グラニュー糖35g、サラダ油、お湯(熱湯)、バニラオイル、薄力粉を順番に入れて均一に混ぜる。お好みで甘納豆を加えて混ぜる
- 3 卵白でメレンゲを作る。グラニュー糖35g、レモン汁、塩を加える
- 4 2と3を混ぜて型に流し、180℃のオーブンで30分焼く
逆さにして冷まして型から外す

〈ゼリー〉

- 1 アガーと砂糖をよく混ぜ、水を加えて、火にかけてひと煮立ちさせ食紅を入れる
- 2 型に入れて冷蔵庫で冷やし固める
(冷凍室なら30～40分くらいで固まります)

つくったひと

ヤナギキミコ
柳喜美子さん

